

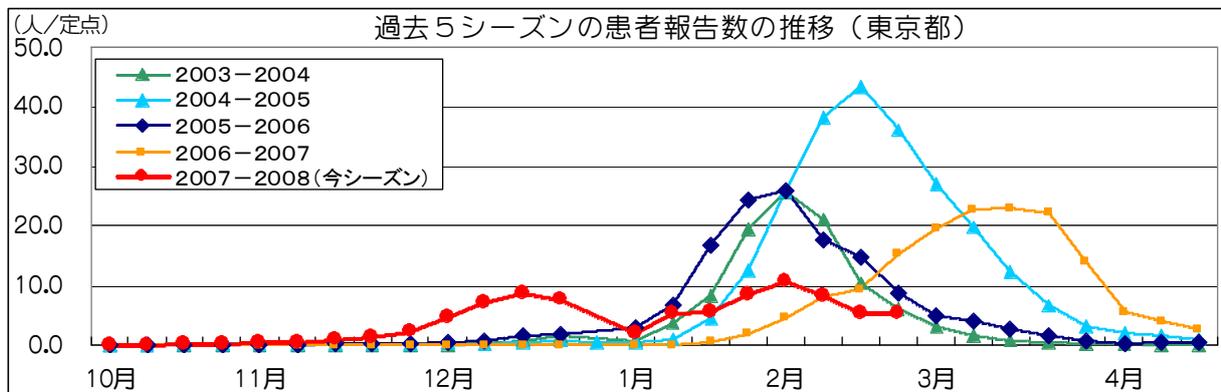
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

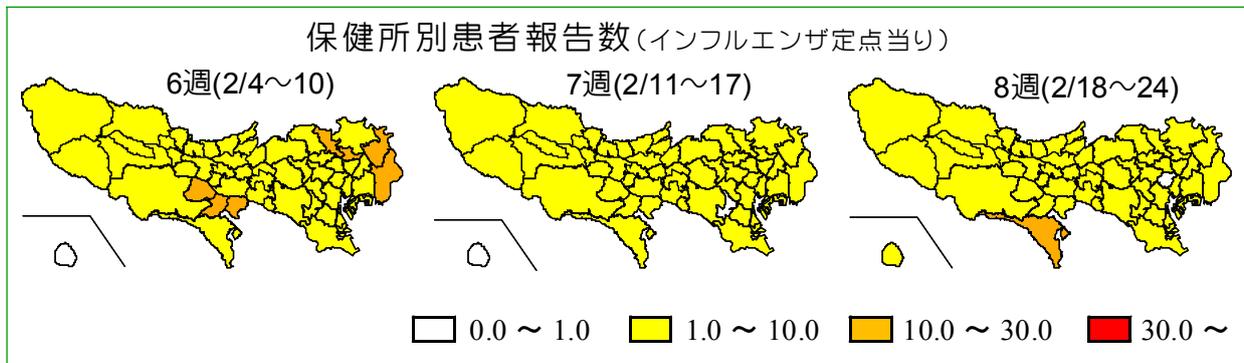
今号(第15号)のトピックス

- ・第8週(2月18日から24日)のインフルエンザ患者報告数は 1,516人、
定点当たり 5.26人 (去年同期 定点当たり 15.20人)
- ・2区9市で学級閉鎖
- ・東京都の流行規模は、全国で38位
- ・オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルスについて

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

東京都におけるインフルエンザ定点*からの第8週(2月18日から24日)の患者報告数は、1,516人、定点当たり 5.26人です(去年同期 定点当たり 15.20人)。インフルエンザ定点当たりの報告数は前週から微減しています。全国的な傾向と比較すると、このまま終息する可能性が高いと思われますが、今後の動向に注意が必要です。

全国の患者報告数は 41,671人、定点当たり 8.77人です。全国の定点当たり患者報告数も微減し、先週の約92%になっています。

*:インフルエンザ定点
インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

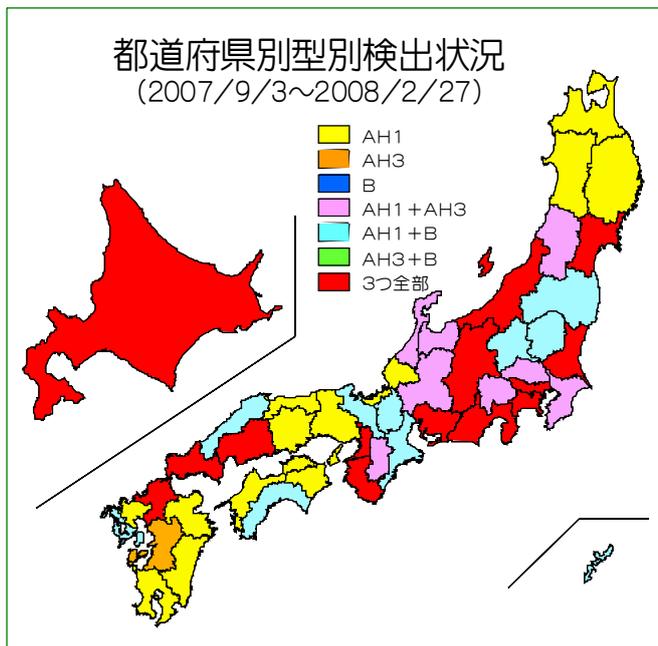
表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-4週 (9/3-1/27)	518	118	115	2	1
5週 (1/28-2/3)	39	21	18	3	0
6週 (2/4-10)	42	21	19	2	0
7週 (2/11-17)	43	11	5	1	5
8週 (2/18-24)	25	10	10	0	0
合計			167	8	6

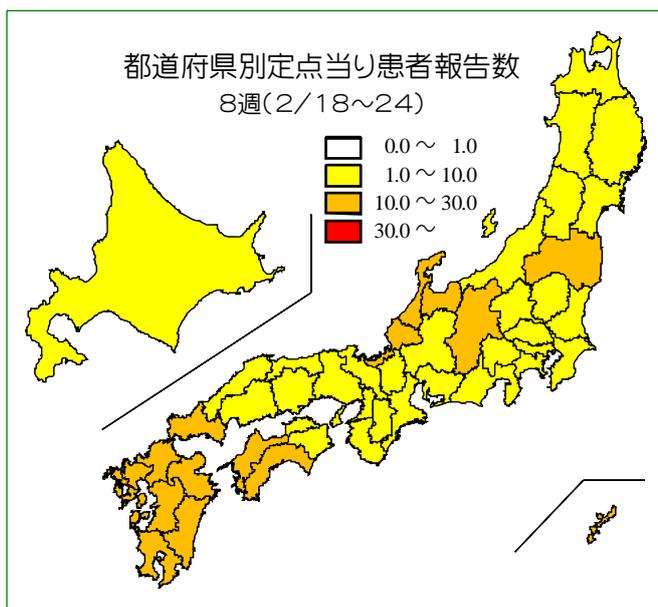
表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
1月末まで	26か所	幼稚園 小学校 中学校	101	99	99	0	0

都道府県別型別検出状況
(2007/9/3~2008/2/27)



都道府県別定点当り患者報告数
8週(2/18~24)



2 都内学校の学級閉鎖状況

2月17日から23日に、板橋、練馬、八王子、青梅、昭島、小平、福生、東大和、多摩市、あきる野、西東京の2区9市でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

3 東京都と全国の検査情報

(2007年9月以降)

2月24日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が167件、AH3亜型が8件、B型が6件、PCR法により検出されています。

2月28日までに集団発生(学級閉鎖等)26事例の検体が当センターに搬入され、26事例99検体からAH1亜型が、PCR法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、2月27日までに、46都道府県からAH1亜型、23都道府県からAH3亜型、24都道府県からB型が報告されています。

今回新たに、AH1亜型が長崎、宮崎の2県から、AH3亜型が新潟、山梨、奈良、和歌山の4県から、B型が北海道、新潟、和歌山、島根、沖縄の5道県から報告されました。

4 全国の流行状況

第8週(2月18日から24日)現在、16県が注意報発令の基準値であるインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。宮崎(26.75)、大分(25.43)、佐賀(24.26)、熊本(23.99)、長崎(21.36)、福岡(20.23)の九州6県は、定点当り患者報告数が20人を超えています。

東京(5.44)は全国で38番目になっています。

5 オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルスについて

横浜市衛生研究所の調査により、今シーズン、インフルエンザ治療薬のオセルタミビル(以下タミフル)が効かない耐性ウイルス(Aソ連型)が、5人から見つかったことが報告されました。

- ・横浜市におけるインフルエンザ等の流行情報(その13)

http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/2008nen/rinji0805.pdf

なお、都内ではこれまでのところ検出されていません。

(1) タミフル耐性インフルエンザウイルスとは

インフルエンザウイルスが増殖し感染を広げる時にノイラミニダーゼという酵素が働きます。この酵素はウイルスの表面に存在しています。

タミフルはこの酵素の働きを阻害することで、ウイルスが細胞の外に出て周囲に広がることをできなくします。その結果ウイルスは死滅します。タミフルがノイラミニダーゼの働きを阻害することができない変異がウイルスに生じると、ウイルスはタミフルに対する耐性を持ちます。

タミフル耐性の有無は、ノイラミニダーゼの274番目のアミノ酸であるH274Yの変異(ヒスチジンからチロシンへの変換)を指標として解析します。

(2) 海外での耐性ウイルス発生状況

ヨーロッパ地域の公式情報によると、2004/05～2006/07年シーズンは1%未満であったタミフル耐性が、2007年11月～2008年1月のA/H1N1ウイルス分離株計3,447株では約14%に認められ、タミフル耐性ウイルスが容易に人から人へ感染しうる状況であると結論づけています。

高病原性鳥インフルエンザウイルスA/H5N1のタミフル耐性は、2005年ベトナムの2症例、2007年のエジプトの2症例において報告されていますが、現時点で、タミフル耐性がエジプトや他の場所で広範囲に拡大していることを示す徴候はありません。

- ・ヨーロッパ地域のインフルエンザA(H1N1)ウイルスでのオセルタミビル耐性出現(厚生労働省検疫所)

http://www.forth.go.jp/official/080208_01.html

- ・鳥インフルエンザ－エジプトにおける状況－更新(2007年1月18日 WHO)

http://idsc.nih.gov/disease/avian_influenza/2007who/65who7.html

- ・Oseltamivir Resistance during Treatment of Influenza A (H5N1) Infection (The New England Journal of Medicine)

<http://content.nejm.org/cgi/content/full/353/25/2667>

(3) 日本国内での発生状況(2003～2006年)

地方衛生研究所から国立感染症研究所へ提出されたインフルエンザウイルスのタミフル感受性についてのスクリーニング調査から以下の結果が得られており、日本は1人当たりのタミフル使用量が最も多い国であるものの、耐性の頻度は低かったと結論づけられています。

- ・分離インフルエンザウイルスにおけるノイラミニダーゼ阻害薬耐性のモニタリング
2003～2006インフルエンザシーズン－日本(IASR Vol.28 p 171-172:2007年6月号)

<http://idsc.nih.gov/iasr/28/328/fr3282.html>

2003/04年シーズン	A/H3N2型	1,180株中3株が耐性(E119V変異2株、R292K変異1株)を示しました。
	B型	15株に耐性を示す変異はありませんでした。
2004/05年シーズン	A/H1N1型	60株で耐性を示す変異はありませんでした。
	A/H3N2型	558株で耐性を示す変異はありませんでした。
	B型	252株のうち、1株が耐性(D197N変異)を示しました。
2005/06年シーズン	A/H1N1型	178株中4株が耐性(ノイラミニダーゼH274Y変異)を示しました。
	A/H3N2型	251株で耐性を示す変異はありませんでした。
	B型	163株で耐性を示す変異はありませんでした。
2006/07年シーズン	B型	38株で耐性を示す変異はありませんでした。

(4) 東京都健康安全研究センターでの解析結果

健康安全研究センターウイルス研究科で今シーズン(2007~08年)に分離したインフルエンザウイルスについて、遺伝子の解析を行いました。

解析したウイルス株は2007年11月から2008年1月に分離されたAH1亜型(Aノ連型)85株です。

その結果、タミフル耐性に指標であるH274Yの変異を認めたウイルスは現在まで確認されていません。

検体採取年月	検体の種類	分離ウイルス(株)	変異の有無
2007年9月	感染症発生動向調査	2	無
2007年11月	学校での集団かぜ	13	無
	感染症発生動向調査	4	無
2007年12月	学校での集団かぜ	11	無
	感染症発生動向調査	22	無
2008年1月	学校での集団かぜ	2	無
	感染症発生動向調査	24	無
2008年2月	感染症発生動向調査	7	無
合計		85	無

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/